



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2013-2014)

- 国際協会会長(IP) Poul V. Thomsen (デンマーク)
"Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
スローガン "Extension, Extension, Extension"
「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (大阪土佐掘)
"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
スローガン "One Asia One world" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 高瀬 稔彦 (岩国みなみ)
"Attend clubs meeting with a clear motive to make the most of them"
「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう」
スローガン "Your experience makes you a good Y's man"
「経験がワイズを育みます」
- 六甲部部長(DG) 山田 滋己 (神戸ポート)
『さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ』
副題 《1つ1つの楽しい活動を原点にして》
- 西宮クラブ会長(CP) 堤 一幸
『65周年に感謝、そして新しい大きな第一歩を踏み出そう!』
"Let's start our new big first step and thanks, to 65years!"
- ★ 2013年10月 西日本区強調ポイント "Public Relations Wellness"
加藤 信一 広報事業主任 (京都トップスクラブ)
「ワイズデーでワイズメンズクラブのPR活動を！」

2013年11月第787号
《67期05号》
Since 5.17.1948

スポンサークラブ

- ・大阪クラブ
- DBC 締結 (2007)
- ・近江八幡クラブ
- ・広島クラブ

クラブ主役員

- 会長 堤 一幸
- 副会長 山口 政紀
- 直前会長 長井 慎吾
- 書記 馬場 一郎
- 書記 廣瀬 一雄
- 会計 山本 常雄
- 会計 山口 吉郎
- 監事 岩田 健司
- 担当主事 宗行 孝之介
- 部 EMC 主査 小野 勲紘

今月の聖句 (選者 山口政紀)

わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにつながっていながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊に実を結ぶように手入れをなさる。

【ヨハネによる福音書 15.1-2】

2013年11月第一例会のご案内

日時：2013年11月15日(金) 19時~21時

会場：西宮YMCA 保育園 3F ホール

ドライバー：万本 長井

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・聖句朗読
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 食前感謝・会食
5. ゲストスピーカー

「ボーイスカウトの活動に思うこと」

桜木 明人氏

6. 全国リーダー研修会報告
7. ファミリー例会打ち合わせ
8. お誕生日のお祝い
9. Y's ニュース、YMCA ニュース
10. 閉会点鐘

【10月例会出席状況】

第1例会(10.27 金)
 メン・ウィメン 20名
 メネット・コメット 7名
 ゲスト・ビジター 0名
 合計 20名 MU 3名
 出席率 100%
 在籍数 23名

第2例会(10.6 金)

メン・ウィメン 19名
 メネット・コメット 0名
 ゲスト・ビジター 0名
 合計 18名

(累計出席率 96.7%)

【お誕生日】

浅野 純一メン(11/10), 山本 容子メネット(11/18)
 阪根 新メン(11/23), 山口 吉郎メン(11/30)

【ファンド・BF累計】10月

ニコニコファンド	Op	累計 6000p
Brotherhood Fund (目標 345\$)	Op	累計 11700p
BF 使用済み切手 (前期 1890g)	0g	累計 0g
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥0		累計 ¥7200
TOF, FF/EF, JWF (目標 368\$, 345\$, ¥5000)		
	Op	累計 0p

【今後の予定】

【11月の予定】

1日(金) 第二例会
2日(土) 大阪クラブ85周年記念例会
4日(月) チャリティラン(しあわせの村)
15日(金) 第一例会
24日(日) ファミリープログラム

【12月の予定】

6日(金) 第二例会
21日(土) 第一例会(クリスマス祝会)
※オーシャンビュー須磨

【会長メッセージ】

会長 堤 一幸



しつこいと思われるかも知れませんが、私達西宮ワイズメンズクラブは、『2014年1月より、「第一例会日が第二金曜日、第二例会が第四金曜日」に変更になります。』お間違いなきよう、お集まり下さい。

さて、私ども西宮ワイズメンズクラブは10月末よりYMCAサービスイベント目白押しです。まず、『第31回西宮YMCAカーニバル』が10月27日(日)には接近する台風が気になりながらも、26日(土)前日準備より天候にも恵まれ、クラブから岡田メンを実行委員長として送り出し、足立・馬場貴メンがドライバーとして私どもメンバーを引っ張って頂き、多くのメン・メネットの「のみの市」、「カレーライス販売」ご奉仕により、盛会に終わることができました。ありがとうございました。そして、11月3日(振休)には『神戸YMCAチャリティラン』が神戸市北区のしあわせの村において行われました。これまた、多くのメン・メネットのご奉仕とランで秋の気持ち良い風を感じられたことでしょうか。先日、山口吉メンより多くの写真が送られてきました。その中には、当日無念にも欠席させて頂いた小生の顔写真を背負ったメンバーがいるのでは、ありませんか……。この未熟な会長の堤を背負ってくれる、良きメンバーに支えられていることに、これまた感謝です。(妄想でしょうか！)

先日、近畿地方に「木枯らし一号」が吹いたそうです。熱燗の美味しい季節です。

酒豪の多い私ども西宮クラブですが、くれぐれも「飲みすぎ、食べすぎ」に気をつけていただきたいものです。

【第一例会報告】(カーニバル報告)

ドライバー: 足立 康幸メン

馬場 貴英メン

10月27日(日)に第31回西宮カーニバルが、開催され、西宮ワイズメンズは例年どおり、カレーライス、のみの市の出店をはじめとする活動で奉仕を行いました。

今年は10月に入っても台風が次々と訪れ、直前まで、天候が心配されましたが、当日はさすがに天候に恵まれ、やや気温が低かったこともありカレーや、焼きそばなど模擬店の販売も順調だったように思いました。

また、去年に引き続き、宮古物産の販売も行うことが出来ました。

西宮ワイズメンズは、普段の例会を西宮YMCA保育園をお借りして開催していますが、保育園の先生方と身近にお話する機会となると、実際にはカーニバルの時ぐらいということになってしまっているの現状です。保育園の先生方に、今年もカレーライスの炊飯、カレーのこしらえの協力を頂きました。あらためて感謝を申し上げたいと思います。

入場者数は、ほぼ例年と変わらず約800人、収益金は¥382,043でした。

当日および、前日の準備への参加は、浅野メン、石井メン、岩田メン、岡田メン、メネット、小野メン、堤メン、長井メン、西山メン、馬場(一)メン、濱メン、メネット、濱崎メン、廣瀬メン、メネット、藤原メン、万本メン、三島メン、宗行メン、山口(吉)メン、メネット、山口(政)メン、メネット、山本メン、メネット、宮地メネットの28名でした。

(馬場)



〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内
TEL 0798-35-5987 FAX 0798-23-6170
西宮クラブ HP URL: <http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/index.cgi>

第一例会: 毎月第3金曜日 19時~
第二例会: 毎月第1金曜日 19時~



【西宮ワイズメンズニュース】

会長 堤 一幸

1. 2013年度 国際協力街頭募金活動
2013年12月8日(日)14時～16時 神戸元町大丸百貨店前(北西入口集合・解散)
2. キャロルを歌うタベ
2013年12月13日(金)19:00～ 宝塚ベガ・ホール(阪急清荒神駅すぐ)
3. 学園都市ワイズメンズクラブ 20周年記念例会
2013年12月25日(水)一次申し込み〆切
エスタシオン・デ・コウベ(2014年2月15日(土)13:30～17:30) 会費:7,500円
4. 新春ワイワイフォーラム
2014年1月11日13:00～17:00 神戸YMCA 本館

【きらりと輝くアート展開催】

(六甲部メネット事業)

宮地京子メネット委員



芸術の秋到来！9月27日(金)～30日(月)、芦屋市民センター3階ホールにて今期の六甲部のメネット事業である「きらりと輝くアート展(みんなでアートを楽しもう)」が開催されました

開催まで今期の五十嵐かほるメネット事業主査(芦屋クラブ)を中心に六甲部8クラブのメネットさん、メンたちが協力して準備してきました。(搬入・搬出は西宮クラブ中心で支援)

会場には阪神間在住の障がい者個人2人、障がい者施設グループ16ヶ所の作品90点が所狭しと展示され、市民にも公開され来場者が多数(4日間延べ550人余り)鑑賞されました。

どの作品も素晴らしく、ご覧になった方々は一様に感動されアンケートにも、「心温まります」、「色彩が美しく、伸びやかで楽しい」等々との感想を戴き、観に来て良かったとの感想しきりでした。

初日27日には、谷本久美子西日本区メネット事業主任が来場下さり、29日午前には高瀬稔彦西日本区理事が奥様とご一緒にお越しになり鑑賞下さいました。

西宮クラブからは、山本メンのお計らいで、「にじのかけ橋(17名)」の皆さんによる【モビール】と、夙川在住の高橋弘次君の絵画4点・ちぎり絵1点・Tシャツ4点の出展がありました。特にTシャツは好評で「販売しては？」とのお声も有った程です。終了後、高橋弘次君

に絵画を返しに行き、其の事をお伝えしたら、その絵を「はんしん自立の家」にご寄付されるとの事でした

搬入・搬出には、浅野、阪根、廣瀬、山本の各メン、当日受付には岩田、石井、小野の各メン・ウイメン、岡田、濱、廣瀬、西山、山口まり子、山本の各メネットが協力して下さい、また会場には長井メンがご家族で、山口政紀メンがメネット同伴で、他堤会長ほか多くのメンバーも来て下さいました。藤原ウイメンのお連れ合いにも『さわらないでね』のカットをお願いした所、快く引き受けて下さり、之が又好評で大いに面目を果す事が出来ました。之も皆西宮クラブの皆様のお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。



神戸新聞9月29日付阪神地域版に紹介されました

【YMCA ニュース】

宗行 孝之介メン



本当に台風の当たり年ですね。みなさまお変わりございませんか？

10月は運動会やバザーなど行事が目白押しです。また、ジャガイモは本当にありがとうございました。

さて、今回は西宮 YMCA の学童保育事業をご紹介しますと思います。西宮市では「留守家庭児童育成事業」というくりで、各小学校の敷地内で学童保育を実施しており、YMCA は香櫨園、用海、浜脇の三センターの運営を指定管理者として受託しています。

神戸 YMCA が神戸市内で実施しているいわゆる地域方式と呼ばれる学童保育とはかなり性格は異なります。一例を挙げると、西宮の場合は市の事業なのでいわゆる YMCA 色を出すことは非常に難しく、国際協力募金のお願ひひとつをとっても「一財団の募金をなぜ公的な学童で募られるのですか？」と保護者から所轄課

にクレームが行きますと実施できなくなることもあります。さすがに近年は保護者の方々のご理解も漸くいただけるようになりました。ただ、従来の財団の事業と比べて、地域社会のあらゆる方々が利用されますので、我々が従来の財団事業でやれキャンプだ、やれサッカーだというなかで対象としてきた子ども、保護者より広い範囲、いわば社会の縮図がそこに現出することになります。詳細な数字は明かすことはできませんが、家庭に問題のある子ども、発達に問題のある子ども、あるいは経済的にとても苦しいご家庭、片親、事実婚の親と連れ子の関係性等々、ひどい場合は育児放棄や虐待が疑われる子どももいます。わたしたちにとっては新たな守備範囲ですが、考えてみれば1844年のロンドンも同じかもっとひどい状況にあったわけで、そのなかで「若者と子どもが光り輝く」ための事業、地域社会が最も必要としている事業ではないかと思います。指定管理者という契約形態からとすれば「下請けだ」とか「収益ねらい」だとか言われることもあります。YMCAの今日的機能として理解いただくとうれしく思います。

シニアはキャンプが2回目ということもあって、みんな慣れた感じで、それぞれのグループがまとまって活動をしてました。その中でもツリーイングやサイクリングといった普段では経験することのないプログラムも体験できて、とても良かったです。さらに違うグループの友達とも関わり、シニア全体としてまとまってきています。全セクション、活動内容は様々ですが、中身の濃い例会でした。これからも子どもたちだけではなく、リーダーも沢山の体験をし、感じ、共に成長していけたらと思います。また、カーニバルにむけてリーダー一同はりきって準備を進めております。今後とも引き続きあたたかいご支援をよろしく願いいたします。

【リーダー会便り】

西宮YMCAリーダー 上鶴 綾乃

いつも暖かいご支援を頂きまして、ありがとうございます。朝夕はひんやりと冷え込み、秋を感じます。

さて、10月例会では、キッズは旧福知山廃線ハイキングにいきました。まだ赤くない紅葉を手に取り、お家にもって帰ったら赤くなるかもしれないと、ワクワクしていました。トンネルの中は足元を照らさないと歩いて行けない暗さでしたが、怖がることなく、リーダーを驚かしたり、トンネルのなかに潜む「ゲジゲジ」と名付けた虫にキャーキャー言いながらも、たのしんでいる様子でした。花や栗拾いをしたり、鬼ごっこをしたり、橋の上で電車ごっこをしたり、グループによって過ごし方は様々でした。昔使われていた線路の上を歩く子どもたちは、普段することはできない体験に目を輝かせていました。

最近では自然のものを見つけるだけでなく、音にも興味をもっている様です。毎月会うたびに逞しくなっていく子どもたちに、喜びを感じています。

ジュニアは、初めてのキャンプの子も多く、楽しみな気持ちと不安や緊張が多い子供たちがいた中、怪我や体調を崩すこともなく、今までにない長い時間を過ごして子どもたちとの距離が更に近くなれたとても楽しいキャンプが出来ました。また、ジュニアの年間目標であるのびのびが、達成に近づけたと思います。今年のキャンプは例年にはない、ツリーイングというものをしました。絶対木から落ちない綱を付けて、今まで見れない景色が見れたり、鳥の気持ちになれたり充実した時間を過ごしました。3月にまた同じロケ地に行きます。10月キャンプと同様、おもいきりのびのびしたキャンプを作っていきたいと思っています。